

平成22年度
商工会事業評価システム
年次報告書

商工会事業評価システム

～成果主義を背景とした「目標対成果」の自己検証～

“即ち、限られた財源の中でいかに事業を効率化し、
実行性のある事業を展開して行くか”

理事会 報告日 平成22年 4月26日（予定）

総（代）会報告日 平成22年 5月21日（予定）

| | |
|----------|------------|
| 入力年月日 | 平成22年4月23日 |
| 商工会コード | 2042 |
| 商工会名 | 群馬伊勢崎 商工会 |
| 入力担当者職氏名 | 経営指導員 青木義彦 |
| 分析シートの枚数 | (5) 枚 |

群馬県商工会連合会

1. 評価対象者の概要

(1) 評価対象団体名

(群馬伊勢崎) 商工会

所在地(伊勢崎市境新栄13-7)

(2) 団体の概要

①会員数 (1, 4 1 8) 名 ②小規模事業者数 (2, 0 1 2) 名

③職員数 (9) 名 平成22年4月1日 現在

(3) 構成役員

①会長 (1) 名 ②副会長 (2) 名 ③理事 (3 0) 名

④監事 (2) 名

(4) 評価事業期間

平成21年4月1日から平成22年3月31日

(5) 評価算定者

職名 (経営指導員)

氏名 (青木 義彦)

<記入上の注意>

以下、2. 総括的概要 3. 外的及び内的環境の変化等 4. 重点課題項目の注目すべき実績 (要因を含む)を記入するにあたってのご注意

(1) この年次報告書は、商工会事業評価シートの【定性的評価】をもう少し解かり易く、【定量的評価】の実績数値を示しながら記載することが求められています。

(2) 商工会の1年間の総括的概要、環境の変化(大型店の出店・地域プロジェクト・役員の改選・職員の人事交流等)並びに年間を通じ特に重点を置いた事業について、【当初の目標や計画に対しその結果】を比較考量しつつコメント記述してください。

2. 総括的概要

平成21年度は、リーマン・ショックの後遺症に陥る日本経済の低迷を背景に、特に製造業を中心とした会員企業の事業縮小・廃業が進み、全会員事業所数の約5%にあたる81事業所が退会するなど、商工会を取り巻く環境はますます厳しさを増している。

このような状況の中で本会では、「会員のための組織」という原点に立ち返り、経営支援機能の強化・充実を図るため、これまで実施してきた「創業人材育成事業(創業塾・経営革新塾)」等の開催に加え、本会独自事業による目的別研究会(「消費者心理研究会」・「差別化戦略研究会」・「ものづくり研究会」・「境地区中心商店街活性化対策事業」)の設置や地域力連携拠点事業を活用した経営革新・農商工連携支援に注力するなど、会員企業が直面する高度複雑化する経営課題を克服するための諸事業に積極的に取り組んできたところである。また、市行政の支援を得て、伊勢崎商工会議所と共催でプレミアム付商品券「いせさき商品券」を総額3億3千万円分発行するなど、地域振興策にも積極的に取り組んだところである。

廃業に伴う会員の大幅な減少や商工会組織の財政問題が懸念される今後の組織課題に鑑み、中長期的な視点で組織内改革の必要性が出てきたことから、事務所の一元化を含めた「商工会中期ビジョン」を策定し、あるべき商工会の目標実現に向けた具体策を機関決定し、行政への提言を行ったところである。

3. 外的及び内的環境の変化等

中小企業、とりわけ商工会の中心的構成員である小規模事業者の経営環境は非常に厳しい状況にある。本会の業種構成として最も割合の高い商業・サービス業(全体42%)においては、大型店や同業者間との価格競争に伴う競争力の低下に加え、長引く景気の悪化で需要そのものが停滞しており、デフレの進行や店舗の老朽化、後継者不足等の要因も重なって、売上・利益とも減少している。

また、製造業においても、一部、受注回復の兆しは見受けられるものの、未だリーマン・ショック以前の40～70%程度の受注量が大半で、親会社のコストダウン要求(受注単価の低下)や資材の高騰もあって資金繰りは切迫状況にある。景気の悪化に伴う売上の減少等は過去にも経験済みであり、事業者側は時々の経営改善策によりその困難な状況を克服してきたが、近年では環境変化のスピードが速すぎて対処困難な状況にあると言っても良い。こうした状況はしばらく続くであろうと思われる。

商工会(内部環境)については、組織の存在意義そのものが問われている事態に直面しており、会員からは「メリットの実感」、外部からは「効果の可視化」が強く求められている。廃業に伴う会員事業所数の減少、景気低迷による各種手数料収入の低下など組織運営に係る財政上の問題も存在するが、合併して4年が経過した当座の組織課題は「事務所の一元化」となっており、議論を加速化している状況にある。

4. 重点課題項目の注意すべき実績(要因を含む)

取組んだ重点課題項目の実績(負の結果:達成に至らなかった場合も含む)について「各実施事業毎の評価分析シート(様式-1)」を参考にして総括してください。

(1) 目標・計画

(当初の方針(目標)や計画など)

商工会の存在意義が問われている状況の中で、下記の重点施策を当初方針(商工会事業計画)とし、各種事業を実施した。

1. 経営革新事業の推進
2. 地域振興調査事業の実施
3. 不況対策事業の実施
4. 労働保険加入推進
5. 部会事業の活性化と異業種交流事業の実施
6. 目的別研究会の設置
7. 収益事業の推進
8. 事務所一元化の推進

(2) 事業の成果・結果

(年次の報告事項)

上記の当初方針(事業計画)に基づき以下の事業を実施。事業評価の判断として定量的に把握できるものについてはカッコ内に記載する。

1. 経営指導員による巡回・窓口指導(巡回件数1,258件・窓口指導1,389件)
2. 金融斡旋相談指導(斡旋件数99件・585,010千円)
3. 経営革新塾等講習会・セミナー開催(62回・延べ受講者数1,703名)
4. 目的別研究会の設置(全4コース開催)
5. キャリアアドバイザーによる高度専門化課題解決支援(支援件数592件 内巡回339件・窓口253件)
6. 地域力連携拠点事業等を活用した法認定支援(経営革新承認件数3件・農商工連携認定件数1件)
7. エキスパートバンク等、専門家による経営課題解決支援(39事業所)
8. 弁護士等による経営安定支援(15事業所)
9. 1社1技術選定支援(6事業所)
10. 会員事業所の環境経営取り組み支援(環境GS認定支援2事業所)
11. プレミアム商品券「いせさき商品券」3億3千万円分発行(経済効果4億1千万円)

(3) 要因分析

(成果・結果に至った原因や要因)

経営指導員一人あたりの巡回・窓口件数は県平均を下回るものの、商工会合併がもたらした職員増に伴うマンパワーの確保、得意分野(専門知識)の発揮、新事業取り組みへの役員理解などにより質の高い支援サービスの提供が実現していると思われる。

事務所の分散化による事務効率の低下など、若干の合併デメリットも存在するが、商工会が直面する危機感や全役職員が共通認識として捉えているため、問題意識を持って業務にあたっている。経営支援業務の積極的展開については、国や県・県連等が行う各種支援施策を効果的に活用することで、自己負担を要しない財政上の課題をクリアしている。地域振興事業については、市行政や関係団体(会議所など)との関係が良好であるため、協力体制が確立されている。

- (1)重点課題項目について作成してください
 (2)実施事業が複数ある場合は、複数枚作成してください

様式 ー 1

商工会事業評価システム 評価ツール

平成22年度

| | |
|----------|------------|
| 入力年月日 | 平成22年4月23日 |
| 商工会コード | 2042 |
| 商工会名 | 群馬伊勢崎 |
| 入力担当者職氏名 | 経営指導員 根岸稔 |
| 分析シートの枚数 | (6)枚中の(1)枚 |

< 評 価 分 析 シ ー ト >

| | | |
|-------|-------------------|---------------------|
| 実施事業名 | 2. 創業・新分野進出支援関連事業 | 創業人材育成事業（創業塾・経営革新塾） |
|-------|-------------------|---------------------|

| | アウトカム（何がもたらされたか） | アウトプット（何をしたか） |
|------|---|--|
| 成果目標 | 地域内における創業の促進と経営革新による経営力向上 | 創業・経営革新促進の為に少人数ゼミナールの開催 |
| 事業成果 | ITを活用したビジネスモデル構築手法の習得とSEO等のITスキル向上につながった。 | ネットショップ起業塾2009（5回コース） ネット経営革新塾2009（8回コース） |
| 付随成果 | 課題や志を一にする経営者等の集まりであったことから、その後も異業種交流へと発展し、ビジネス連携へとつながった。 | |

| | |
|-------------|-------------------|
| 指標目標達成への貢献度 | 低 1 2 3 4 5 高 |
| | 貢献度リストボックス入力 4:高い |

| | | |
|-----------|-------------------|-----------------------------------|
| 事業実施の結果評価 | 右の「評価の区別」を用いて判定入力 | 評価の区別 |
| | | 1: 継続 2: 見直し 3: 廃止 4: 完了 |
| | 判定 継続 | |

| | |
|-------------------------------------|----------------------|
| 入力担当者（評価者）のコメント欄 | |
| (1) 継続・見直しの今後の展開及び方向性 22年度継続実施予定 | (2) 廃止・完了の今後の展開及び方向性 |

| | |
|-------------------|------------------|
| 今後の事業実施により期待される成果 | IT活用による販路拡大と売上向上 |
|-------------------|------------------|

- (1)重点課題項目について作成してください
 (2)実施事業が複数ある場合は、複数枚作成してください

様式 ー 1

商工会事業評価システム 評価ツール

平成22年度

| | |
|----------|------------|
| 入力年月日 | 平成22年4月23日 |
| 商工会コード | 2042 |
| 商工会名 | 群馬伊勢崎 |
| 入力担当者職氏名 | 経営指導員 青木義彦 |
| 分析シートの枚数 | (6)枚中の(2)枚 |

< 評 価 分 析 シ ー ト >

| | | |
|-------|-------------|----------|
| 実施事業名 | 1. 経営指導関連事業 | 目的別研究会事業 |
|-------|-------------|----------|

| | アウトカム（何がもたらされたか） | アウトプット（何をしたか） | | | | | |
|-------------------------------------|--|---|-------|-------|--------|-------|-------|
| 成果目標 | 業種や企業規模を超えて、同一の経営課題を抱えた異業種体が、特定のテーマ・目的に基づき研究活動することで、課題解決の糸口を探る。 | 特定のテーマに基づいた、経営課題克服のための研究会活動（座学勉強会・視察研修・グループディスカッション）の実施 | | | | | |
| 事業成果 | 経営課題克服のための知識・ノウハウを研究会活動を通して習得し、自社経営に実践的に取り入れることで売上拡大につながった。 | 消費者心理研究会（7回コース） 差別化心理研究会（6回コース） ものづくり研究会（11回コース） 境地区中心商店街活性化研究会（4回コース） | | | | | |
| 付随成果 | 異業種連携（取引拡大）にもつながっている。 | | | | | | |
| 指標目標達成への貢献度 | <p style="text-align: center;">低 1 2 3 4 5 高</p> <p style="text-align: center;">貢献度リストボックス入力 4:高い</p> | | | | | | |
| 事業実施の結果評価 | 右の「評価の区別」を用いて判定入力 | <table border="1"> <tr> <th>評価の区別</th> </tr> <tr> <td>1: 継続</td> </tr> <tr> <td>2: 見直し</td> </tr> <tr> <td>3: 廃止</td> </tr> <tr> <td>4: 完了</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">判定 継続</p> | 評価の区別 | 1: 継続 | 2: 見直し | 3: 廃止 | 4: 完了 |
| 評価の区別 | | | | | | | |
| 1: 継続 | | | | | | | |
| 2: 見直し | | | | | | | |
| 3: 廃止 | | | | | | | |
| 4: 完了 | | | | | | | |
| 入力担当者（評価者）のコメント欄 | | | | | | | |
| (1) 継続・見直しの今後の展開及び方向性 22年度継続実施予定 | | (2) 廃止・完了の今後の展開及び方向性 | | | | | |
| 今後の事業実施により期待される成果 | より細分化したテーマを設定することで、研究会活動の目的が明確となり、経営改善効果が高くなる。 | | | | | | |

- (1)重点課題項目について作成してください
 (2)実施事業が複数ある場合は、複数枚作成してください

様式 ー 1

商工会事業評価システム 評価ツール

平成22年度

| | |
|----------|---------------|
| 入力年月日 | 平成22年4月23日 |
| 商工会コード | 2042 |
| 商工会名 | 群馬伊勢崎 |
| 入力担当者職氏名 | 経営指導員 青木義彦 |
| 分析シートの枚数 | (6) 枚中の (3) 枚 |

< 評 価 分 析 シ ー ト >

| | | |
|-------|-------------|----------------------|
| 実施事業名 | 1. 経営指導関連事業 | 不況対策事業（キャリアアドバイザー事業） |
|-------|-------------|----------------------|

| | アウトカム（何がもたらされたか） | アウトプット（何をしたか） |
|------|---|---|
| 成果目標 | 経済不況により厳しい経営環境にある製造業の体質改善（生産性向上、コストダウン等）を支援 | 製造業アドバイザーを設置し、高度専門化する経営課題の解決策を提案 |
| 事業成果 | 高度専門化、複雑化する製造業の経営課題に対し、生産管理手法等に精通した専門アドバイザーが具体的な経営改善手法を提供し、経営改善効果が得られた。 | 製造業事業所ヒアリング（339社巡回） 窓口相談・課題別講習会の開催（253社） |
| 付随成果 | | |

| | |
|---------------------|---|
| 指標目標 達成への 貢献度 | 低 1 2 3 4 5 高 |
| | 貢献度リストボックス入力 4:高い |

| | | | | | | | |
|---------------|----------------------------|---|-------|--------|--------|--------|--------|
| 事業実施の 結果評価 | 右の「評価の区別」を用いて判定入力 | <table border="1" style="font-size: small;"> <tr><td>評価の区別</td></tr> <tr><td>1: 継 続</td></tr> <tr><td>2: 見直し</td></tr> <tr><td>3: 廃 止</td></tr> <tr><td>4: 完 了</td></tr> </table> | 評価の区別 | 1: 継 続 | 2: 見直し | 3: 廃 止 | 4: 完 了 |
| 評価の区別 | | | | | | | |
| 1: 継 続 | | | | | | | |
| 2: 見直し | | | | | | | |
| 3: 廃 止 | | | | | | | |
| 4: 完 了 | | | | | | | |
| | 判定 継続 | | | | | | |

| | |
|---|---------------------|
| 入力担当者（評価者）のコメント欄 | |
| （1）継続・見直しの今後の展開及び方向性 22年度、製造業アドバイザーに加え、金融アドバイザーを設置（拡充） | （2）廃止・完了の今後の展開及び方向性 |

| | |
|-------------------------------|--|
| 今後の事業 実施により 期待される 成果 | 支援ニーズの高い、生産性向上支援・金融支援の充実を図ることで、会員企業の経営改善支援を強力にバックアップする。商工会の存在価値向上も期待される。 |
|-------------------------------|--|

- (1)重点課題項目について作成してください
 (2)実施事業が複数ある場合は、複数枚作成してください

様式 ー 1

商工会事業評価システム 評価ツール

平成22年度

| | |
|----------|------------|
| 入力年月日 | 平成22年4月23日 |
| 商工会コード | 2042 |
| 商工会名 | 群馬伊勢崎 |
| 入力担当者職氏名 | 経営指導員 青木義彦 |
| 分析シートの枚数 | (6)枚中の(4)枚 |

＜ 評 価 分 析 シ ー ト ＞

| | | |
|-------|-------------------|----------------------|
| 実施事業名 | 2. 創業・新分野進出支援関連事業 | 法認定（経営革新・農商工連携等）支援事業 |
|-------|-------------------|----------------------|

| | アウトカム（何がもたらされたか） | アウトプット（何をしたか） |
|------|---|---|
| 成果目標 | 会員企業の経営革新・新連携活動の側面的支援（事業計画策定等）により、経営力の向上を目指す。 | 経営革新や農商工連携計画策定の意義・メリット等を周知し、法認定等による各種支援策を積極的に活用いただくため、情報提供活動（セミナー）・個別相談会・巡回訪問を実施する。 |
| 事業成果 | 経営革新計画承認件数3件（県全体承認件数の約10%） 農商工連携事業計画認定件数1件 その他、1社1技術6社、環境GS2社認定支援 | 経営革新関連セミナーの開催（3回開催） 経営革新個別相談会（1回開催） 指導員による事業計画策定支援（31回） 県連エキスパートバンク・地域力連携拠点事業を活用した専門化派遣支援（39事業所） |
| 付随成果 | 主体的に経営革新の支援を行っている機関が乏しいことから、地域外からも支援要望があり、会員獲得につながっている。 | |

| | |
|-------------|---|
| 指標目標達成への貢献度 | 低 1 2 3 4 5 高 |
| | 貢献度リストボックス入力 4:高い |

| | | |
|-----------|--|--|
| 事業実施の結果評価 | 右の「評価の区別」を用いて判定入力 <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 20px;"> 判定 継続 </div> | 評価の区別 1: 継続 2: 見直し 3: 廃止 4: 完了 |
|-----------|--|--|

| | |
|------------------------------------|----------------------|
| 入力担当者（評価者）のコメント欄 | |
| (1) 継続・見直しの今後の展開及び方向性 継続実施していく。 | (2) 廃止・完了の今後の展開及び方向性 |

| | |
|-------------------|--|
| 今後の事業実施により期待される成果 | 基礎的な経営改善の支援だけではなく、高度専門化する経営課題にも対応している本会の運営姿勢をPRすることで、会員から信頼感が高まる効果を期待する。また、これらの支援策提供を売りに会員獲得を図りたい。 |
|-------------------|--|

- (1)重点課題項目について作成してください
 (2)実施事業が複数ある場合は、複数枚作成してください

様式 ー 1

商工会事業評価システム 評価ツール

平成22年度

| | |
|----------|---------------|
| 入力年月日 | 平成22年4月23日 |
| 商工会コード | 2042 |
| 商工会名 | 群馬伊勢崎 |
| 入力担当者職氏名 | 経営指導員 青木義彦 |
| 分析シートの枚数 | (6) 枚中の (5) 枚 |

< 評 価 分 析 シ ー ト >

| | | |
|-------|----------------|--------------|
| 実施事業名 | 4. 中小商業活性化関連事業 | 地域振興調査事業（商業） |
|-------|----------------|--------------|

| | アウトカム（何がもたらされたか） | アウトプット（何をしたか） | | | | | |
|--|--|--|-------|-------|--------|-------|-------|
| 成果目標 | 地元商店・商店街と大型店との共存共栄を模索し、地域商業の活性化を図る。 | 地域における事業者の実態と消費者動向を探る為、各種調査・ヒアリング会を開催し、現状把握と課題解決のための方策を模索する。 | | | | | |
| 事業成果 | 調査結果より明らかとなった地域課題・経営課題を共有化し、経営改善に向けた各店の今後の方策が明確化された。 | 商業経営者実態調査の実施 買物アンケート調査の実施 経営者ヒアリング調査の実施 消費者グループヒアリングの実施 個店経営診断事業の実施 | | | | | |
| 付随成果 | 既存のビジネスモデルでは経営が行き詰るとの認識が強まったことから、経営革新の必要性が再認識された。 | | | | | | |
| 指標目標達成への貢献度 | 低 1 2 3 4 5 高 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 2px; display: inline-block; border: 1px solid black;">貢献度リストボックス入力 4:高い</div> | | | | | | |
| 事業実施の結果評価 | 右の「評価の区別」を用いて判定入力 <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 20px;"> <div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px 10px; border: 1px solid black;">判定</div> <div style="background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px 10px; border: 1px solid black;">継続</div> </div> | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="text-align: left;">評価の区別</th> </tr> <tr> <td>1: 継続</td> </tr> <tr> <td>2: 見直し</td> </tr> <tr> <td>3: 廃止</td> </tr> <tr> <td>4: 完了</td> </tr> </table> | 評価の区別 | 1: 継続 | 2: 見直し | 3: 廃止 | 4: 完了 |
| 評価の区別 | | | | | | | |
| 1: 継続 | | | | | | | |
| 2: 見直し | | | | | | | |
| 3: 廃止 | | | | | | | |
| 4: 完了 | | | | | | | |
| 入力担当者（評価者）のコメント欄 (1) 継続・見直しの今後の展開及び方向性 22年度は赤堀地区の調査を実施する。 | | | | | | | |
| (2) 廃止・完了の今後の展開及び方向性 | | | | | | | |
| 今後の事業実施により期待される成果 | 各店に共通する経営課題も多いことから、今後は共同事業などの集团的経営活性化策などの検討に発展するものと思われる。 | | | | | | |

- (1)重点課題項目について作成してください
 (2)実施事業が複数ある場合は、複数枚作成してください

様式 ー 1

商工会事業評価システム 評価ツール

平成22年度

| | |
|----------|---------------|
| 入力年月日 | 平成22年4月23日 |
| 商工会コード | 2042 |
| 商工会名 | 群馬伊勢崎 |
| 入力担当者職氏名 | 経営指導員 青木義彦 |
| 分析シートの枚数 | (6) 枚中の (6) 枚 |

< 評 価 分 析 シ ー ト >

| | | |
|-------|----------------|-------------|
| 実施事業名 | 4. 中小商業活性化関連事業 | いせさき商品券発行事業 |
|-------|----------------|-------------|

| | アウトカム（何がもたらされたか） | アウトプット（何をしたか） |
|------|----------------------------------|---|
| 成果目標 | 消費刺激策（プレミアム付商品券の発行）による地域内事業者の活性化 | 本会並びに伊勢崎商工会議所と共催により、10パーセントのプレミアムを付した「いせさき商品券」を発行総額3億3千万円（販売総額3億円）販売し、消費を喚起することで、管内事業者の売上拡大・活性化を図る。 |
| 事業成果 | 経済効果 約4億1千万円 | 登録店募集活動572店舗（会議所分含む） 商品券発行活動 販売総額3億円 |
| 付随成果 | | |

| | |
|-------------|---|
| 指標目標達成への貢献度 | 低 1 2 3 4 5 高 |
| | 貢献度リストボックス入力 4:高い |

| | | | | | | | |
|-----------|-------------------|---|-------|--------|--------|--------|--------|
| 事業実施の結果評価 | 右の「評価の区別」を用いて判定入力 | <table border="1"> <tr><td>評価の区別</td></tr> <tr><td>1: 継 続</td></tr> <tr><td>2: 見直し</td></tr> <tr><td>3: 廃 止</td></tr> <tr><td>4: 完 了</td></tr> </table> | 評価の区別 | 1: 継 続 | 2: 見直し | 3: 廃 止 | 4: 完 了 |
| 評価の区別 | | | | | | | |
| 1: 継 続 | | | | | | | |
| 2: 見直し | | | | | | | |
| 3: 廃 止 | | | | | | | |
| 4: 完 了 | | | | | | | |
| | 判定 | 継続 | | | | | |

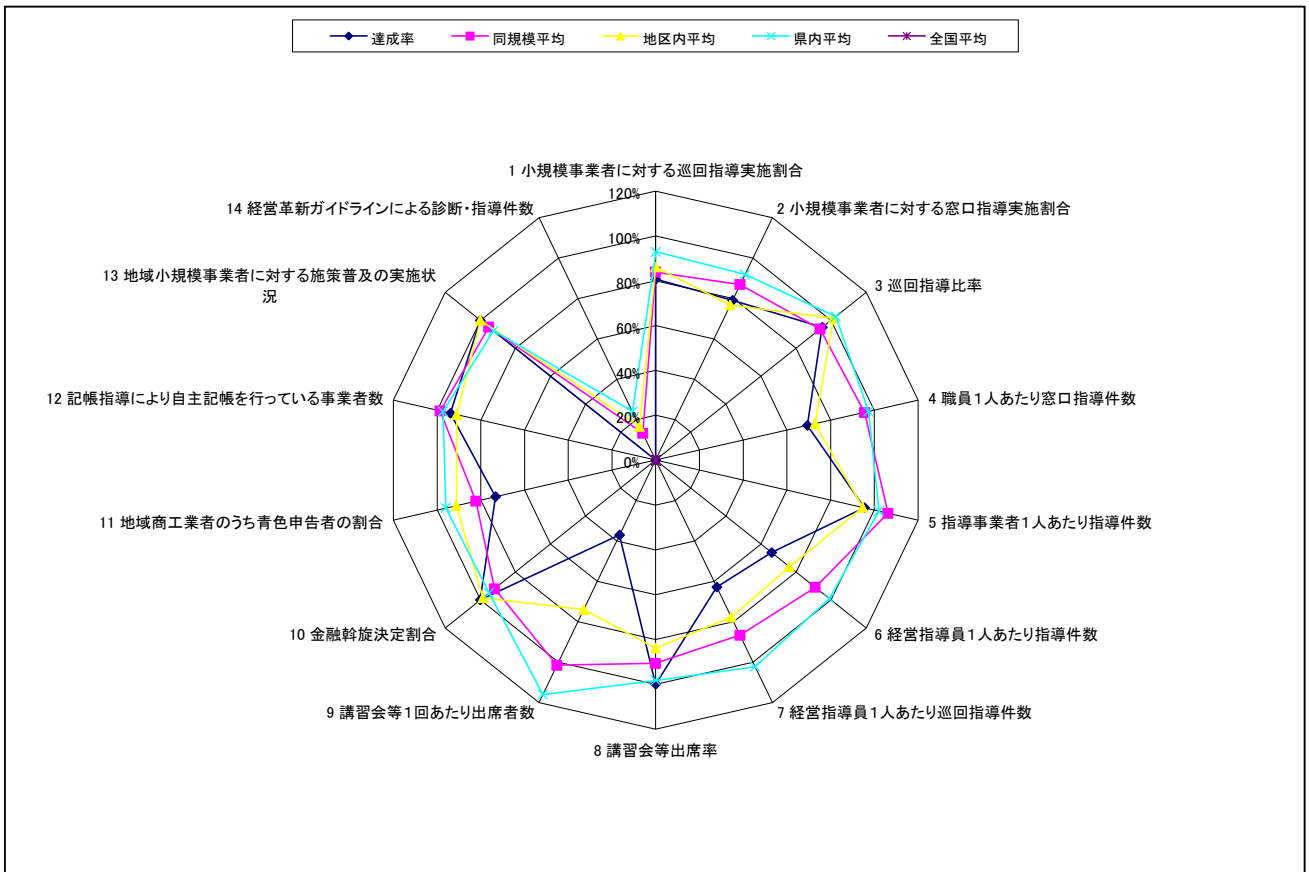
| | |
|----------------------------------|---------------------|
| 入力担当者（評価者）のコメント欄 | |
| （1）継続・見直しの今後の展開及び方向性 22年度継続実施 | （2）廃止・完了の今後の展開及び方向性 |

| | |
|-------------------|--|
| 今後の事業実施により期待される成果 | 22年度は、取扱登録店にとって「新規客の獲得」と「固定客化」につながるようなマーケティング面での支援を合わせて実施する予定。 |
|-------------------|--|

事業区分 1 経営指導関連事業

2042 群馬伊勢崎

| 事業区分 | 統一指標 | 達成率 | 同規模平均 | 地区内平均 | 県内平均 | 全国平均 | 予備項目 |
|------|--------------------------|-------|-------|-------|-------|------|------|
| 1 | 1 小規模事業者に対する巡回指導実施割合 | 81% | 84% | 86% | 93% | 0% | |
| | 2 小規模事業者に対する窓口指導実施割合 | 79% | 87% | 77% | 92% | 0% | |
| | 3 巡回指導比率 | 95% | 94% | 101% | 103% | 0% | |
| | 4 職員1人あたり窓口指導件数 | 69% | 95% | 73% | 97% | 0% | |
| | 5 指導事業者1人あたり指導件数 | 96% | 106% | 95% | 102% | 0% | |
| | 6 経営指導員1人あたり指導件数 | 66% | 91% | 76% | 99% | 0% | |
| | 7 経営指導員1人あたり巡回指導件数 | 63% | 87% | 78% | 102% | 0% | |
| | 8 講習会等出席率 | 100% | 91% | 84% | 98% | 0% | |
| | 9 講習会等1回あたり出席者数 | 37% | 102% | 74% | 116% | 0% | |
| | 10 金融幹旋決定割合 | 100% | 92% | 98% | 95% | 0% | |
| | 11 地域商工業者のうち青色申告者の割合 | 73% | 82% | 91% | 96% | 0% | |
| | 12 記帳指導により自主記帳を行っている事業者数 | 94% | 99% | 91% | 97% | 0% | |
| | 13 地域小規模事業者に対する施策普及の実施状況 | 100% | 95% | 100% | 93% | 0% | |
| | 14 経営革新ガイドラインによる診断・指導件数 | 0% | 13% | 17% | 24% | 0% | |
| 合計 | 平均 | 75.2% | 87.0% | 81.5% | 93.4% | 0.0% | |



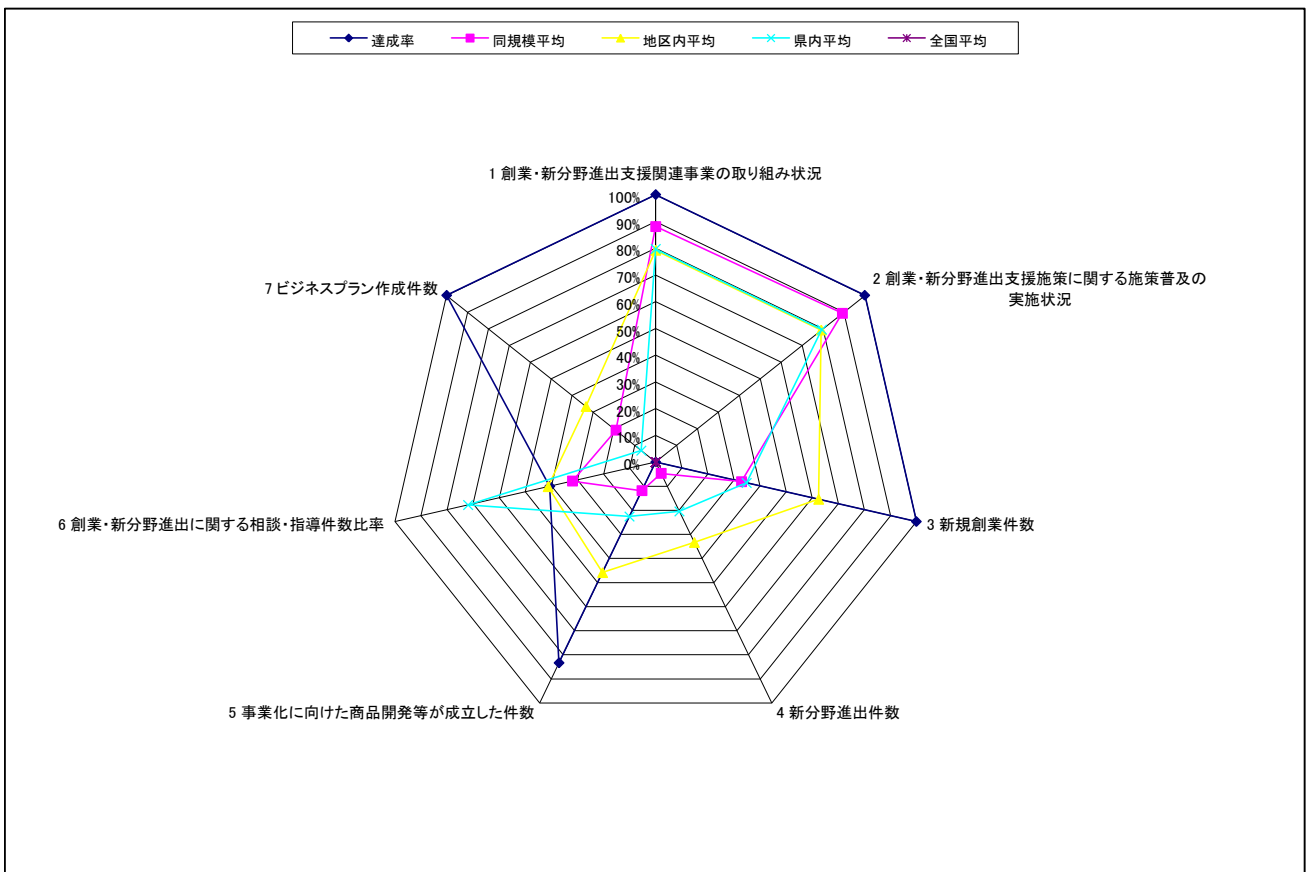
自己評価コメント欄

注目すべき実績または、今後の重点課題項をご記入ください

事業区分 2 創業・新分野進出支援関連事業

2042 群馬伊勢崎

| 事業区分 | 統一指標 | 達成率 | 同規模平均 | 地区内平均 | 県内平均 | 全国平均 | 予備項目 |
|------|-----------------------------|-------|-------|-------|-------|------|------|
| 2 | 1 創業・新分野進出支援関連事業の取り組み状況 | 100% | 88% | 79% | 80% | 0% | |
| | 2 創業・新分野進出支援施策に関する施策普及の実施状況 | 100% | 89% | 79% | 79% | 0% | |
| | 3 新規創業件数 | 100% | 33% | 63% | 35% | 0% | |
| | 4 新分野進出件数 | 0% | 5% | 33% | 20% | 0% | |
| | 5 事業化に向けた商品開発等が成立した件数 | 83% | 12% | 46% | 23% | 0% | |
| | 6 創業・新分野進出に関する相談・指導件数比率 | 41% | 32% | 41% | 72% | 0% | |
| | 7 ビジネスプラン作成件数 | 100% | 19% | 33% | 7% | 0% | |
| 合計 | 平均 | 74.9% | 39.7% | 53.5% | 45.1% | 0.0% | |



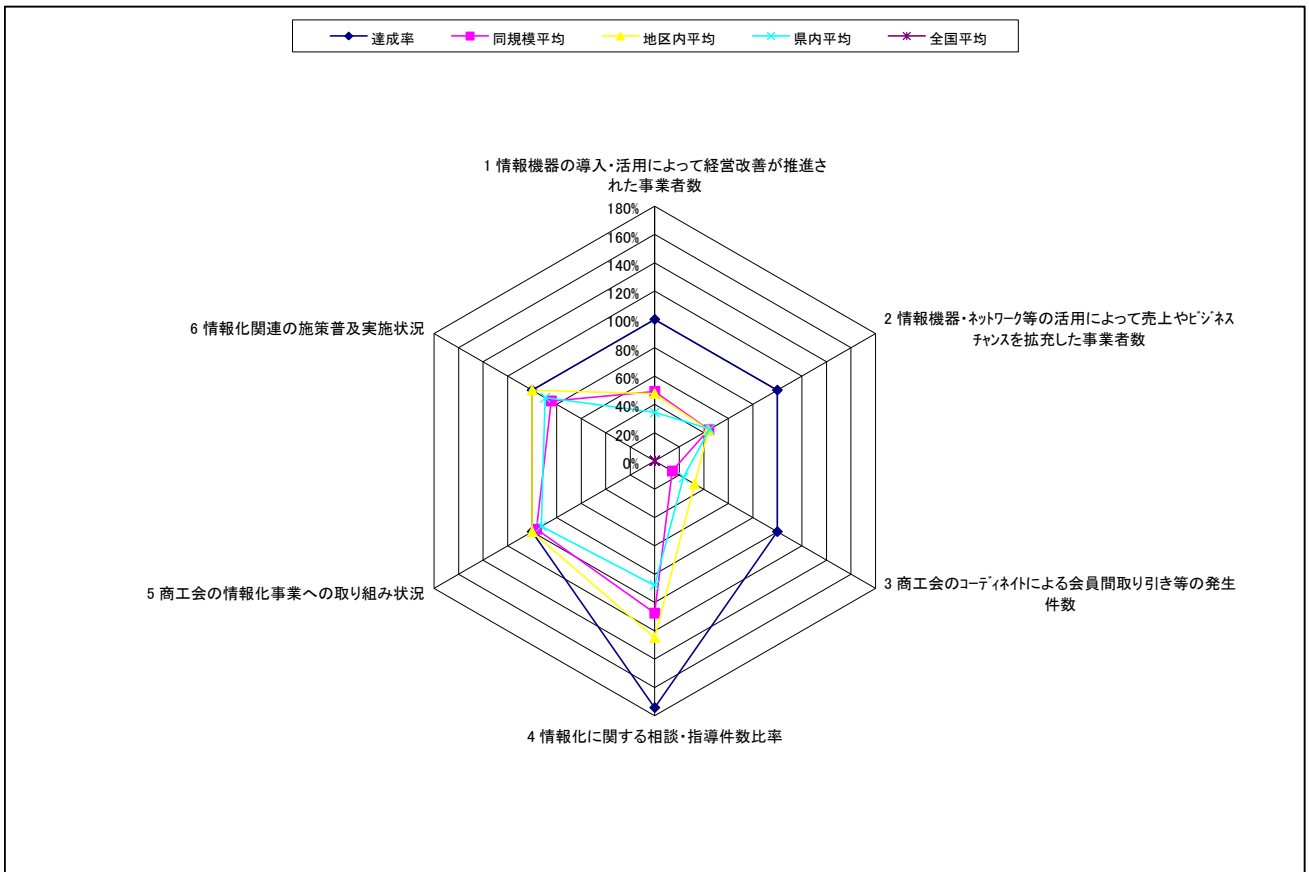
自己評価コメント欄

注目すべき実績または、今後の重点課題項をご記入ください

事業区分 3 情報化関連事業

2042 群馬伊勢崎

| 事業区分 | 統一指標 | 達成率 | 同規模平均 | 地区内平均 | 県内平均 | 全国平均 | 予備項目 |
|------|---|--------|-------|-------|-------|------|------|
| 3 | 1 情報機器の導入・活用によって経営改善が推進された事業者数 | 100% | 49% | 48% | 34% | 0% | |
| | 2 情報機器・ネットワーク等の活用によって売上やビジネスチャンスを拡充した事業者数 | 100% | 44% | 44% | 45% | 0% | |
| | 3 商工会のコーディネートによる会員間取り引き等の発生件数 | 100% | 14% | 14% | 33% | 23% | 0% |
| | 4 情報化に関する相談・指導件数比率 | 174% | 107% | 125% | 88% | 0% | |
| | 5 商工会の情報化事業への取り組み状況 | 100% | 96% | 100% | 92% | 0% | |
| | 6 情報化関連の施策普及実施状況 | 100% | 85% | 100% | 89% | 0% | |
| 合計 | 平均 | 112.4% | 66.0% | 74.8% | 62.0% | 0.0% | |



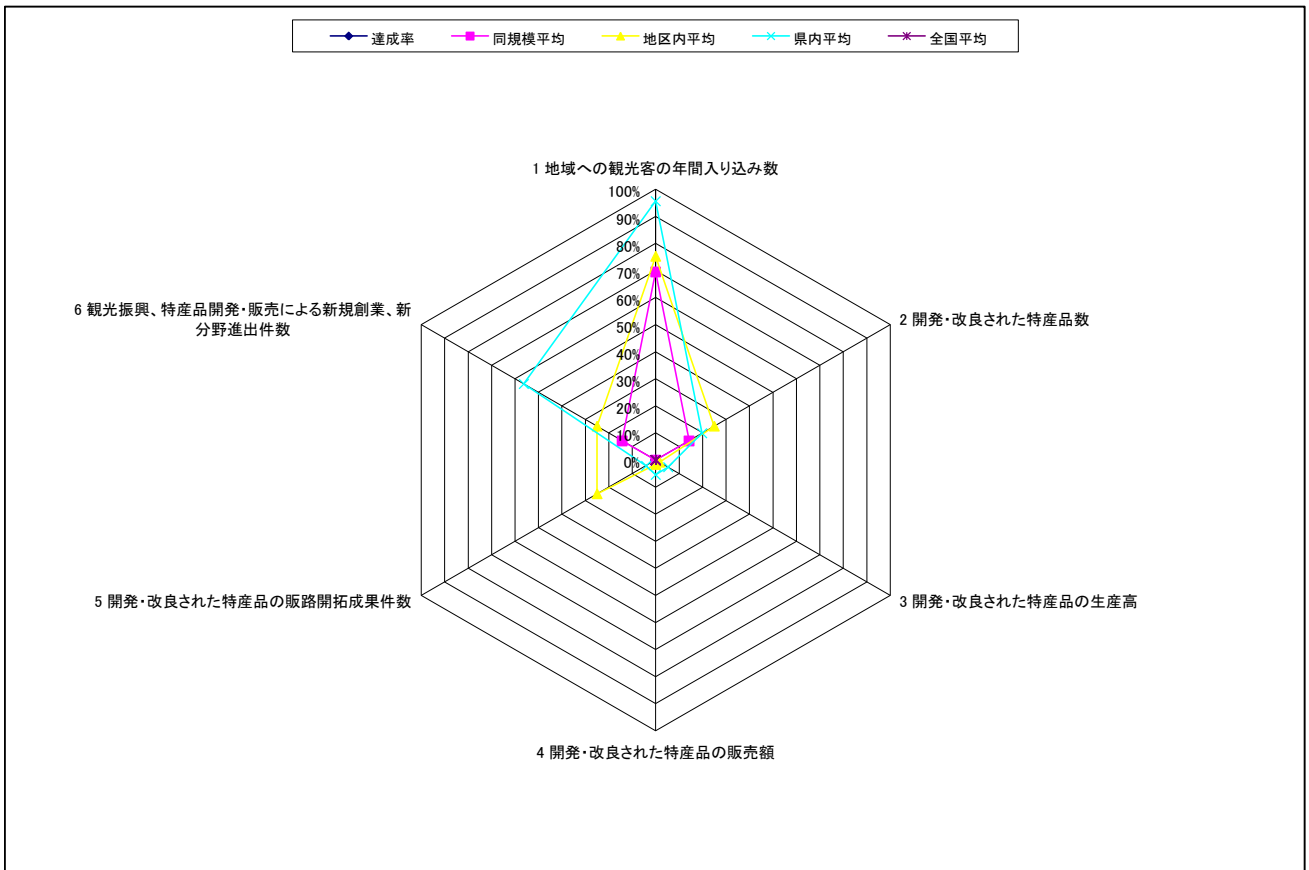
自己評価コメント欄

注目すべき実績または、今後の重点課題項をご記入ください

事業区分 5 特産品関連事業

2042 群馬伊勢崎

| 事業区分 | 統一指標 | 達成率 | 同規模平均 | 地区内平均 | 県内平均 | 全国平均 | 予備項目 |
|------|--------------------------------|------|-------|-------|-------|------|------|
| 5 | 1 地域への観光客の年間入り込み数 | 0% | 70% | 75% | 96% | 0% | |
| | 2 開発・改良された特産品数 | 0% | 14% | 25% | 20% | 0% | |
| | 3 開発・改良された特産品の生産高 | 0% | 0% | 2% | 5% | 0% | |
| | 4 開発・改良された特産品の販売額 | 0% | 0% | 2% | 5% | 0% | |
| | 5 開発・改良された特産品の販路開拓成果件数 | 0% | 0% | 25% | 4% | 0% | |
| | 6 観光振興、特産品開発・販売による新規創業、新分野進出件数 | 0% | 14% | 25% | 56% | 0% | |
| 合計 | 平均 | 0.0% | 16.3% | 25.6% | 31.1% | 0.0% | |



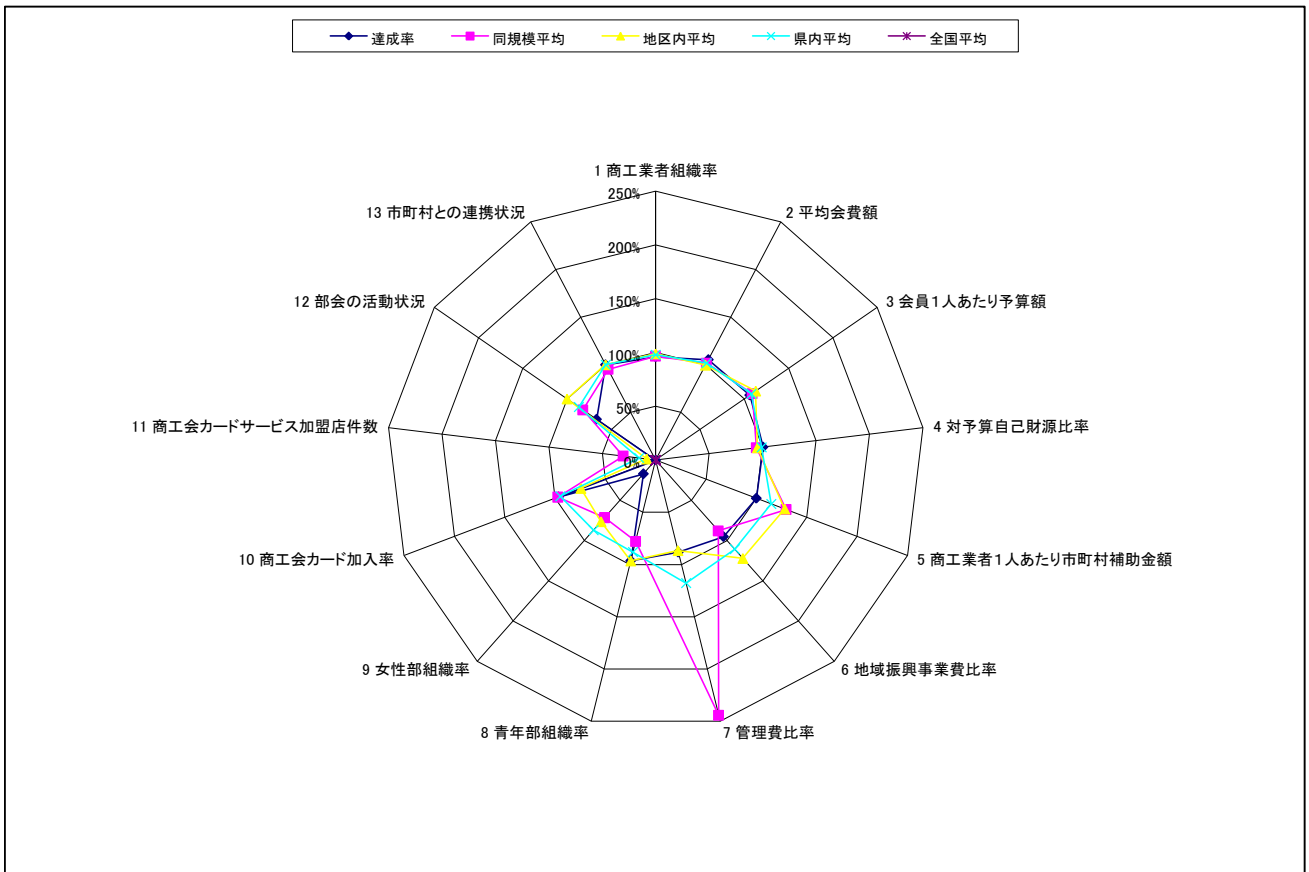
自己評価コメント欄

注目すべき実績または、今後の重点課題項をご記入ください

事業区分 8 組織基盤強化関連事業

2042 群馬伊勢崎

| 事業区分 | 統一指標 | 達成率 | 同規模平均 | 地区内平均 | 県内平均 | 全国平均 | 予備項目 |
|------|--------------------|-------|--------|-------|-------|------|------|
| 8 | 1 商工業者組織率 | 96% | 96% | 99% | 98% | 0% | |
| | 2 平均会費額 | 105% | 102% | 100% | 102% | 0% | |
| | 3 会員1人あたり予算額 | 106% | 109% | 113% | 108% | 0% | |
| | 4 対予算自己財源比率 | 100% | 94% | 95% | 99% | 0% | |
| | 5 商工業者1人あたり市町村補助金額 | 100% | 130% | 128% | 115% | 0% | |
| | 6 地域振興事業費比率 | 95% | 88% | 122% | 111% | 0% | |
| | 7 管理費比率 | 88% | 244% | 87% | 118% | 0% | |
| | 8 青年部組織率 | 96% | 78% | 97% | 88% | 0% | |
| | 9 女性部組織率 | 17% | 71% | 76% | 87% | 0% | |
| | 10 商工会カード加入率 | 96% | 97% | 74% | 95% | 0% | |
| | 11 商工会カードサービス加盟店件数 | 0% | 30% | 8% | 16% | 0% | |
| | 12 部会の活動状況 | 67% | 82% | 100% | 87% | 0% | |
| | 13 市町村との連携状況 | 100% | 95% | 100% | 100% | 0% | |
| 合計 | 平均 | 82.1% | 101.3% | 92.2% | 94.1% | 0.0% | |



自己評価コメント欄

注目すべき実績または、今後の重点課題項をご記入ください
